

中高生の居場所を**広げよう!**

区民ホールや民間施設の活用



前向き子育てプログラム

の効果検証と今後の展開について



前向き子育てプログラム 効果を「測る」ところまで

他自治体での実施例 川崎市で行われた8週間のグループTriple Pの効果検証 (2007～2009年)

川崎市で、就学前の子どもをもつ保護者を対象に、グループ形式(全8回)の前向き子育てプログラムを実施し、受講前後での変化を比較しました。

Triple Pを受講した親 約90名



- ✓ 子育ての仕方(望ましい関わり方)が**改善**
- ✓ 子どもの**問題行動**が**減少**
- ✓ 親の**不安・抑うつ・ストレス**が**軽減**

多くの項目で
統計的に有意な改善が確認されました。

受講していない親 約30名



受講していない親では、
ほとんどの項目で
**明確な変化は
確認されませんでした。**

▶ 効果は「満足したか」だけではなく、**受講前後の変化で確認できる**

港区でも、効果検証を事業の一部に

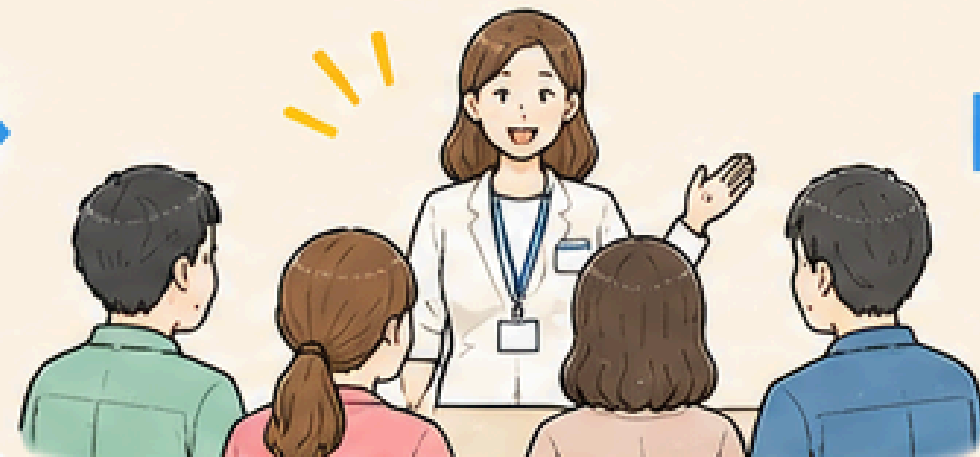
前向き子育てプログラムを、より多くの家庭に届け、
継続的に改善していくために、受講前後の変化を検証する仕組みが重要です。

1 受講前 (開始時)



- 子育てへの自信
- 子育ての負担感
- 親子の関わり方などを把握

2 前向き子育てプログラム (全8回の連続講座)



3 受講後 (終了時)



- 子育てへの自信
- 子育ての負担感
- 親子の関わり方などの変化を確認

4 一定期間後 (追跡調査)



- 変化が続いているか
- 家庭での実践状況
- 子どもの様子などを確認

効果を確認

事業の改善

参加しやすい
開催方法へ

より多くの家庭へ

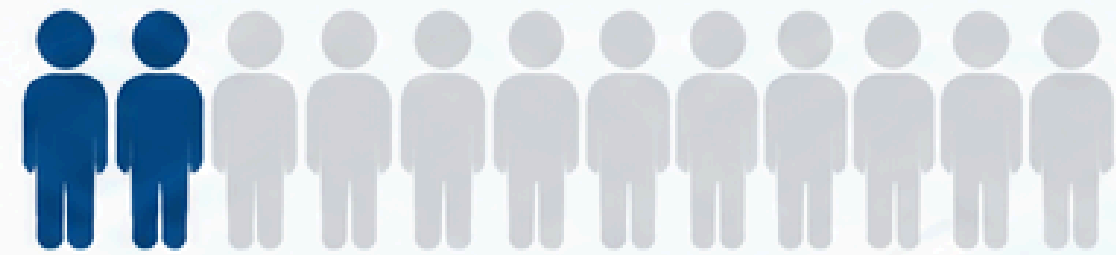
出典: 厚生労働科学研究成果データベース「乳幼児健診をきっかけとした発達障害の早期発見支援活動とその評価に関する研究」/
NPO法人トリプルPジャパン「前向き子育てプログラム(グループ形式)実施報告書」(2009年)

父親も「子育てを学ぶ」機会を

～ 父親が参加しやすい子育て支援へ～

今回の連続プログラムでは
参加者12人中

父親2人



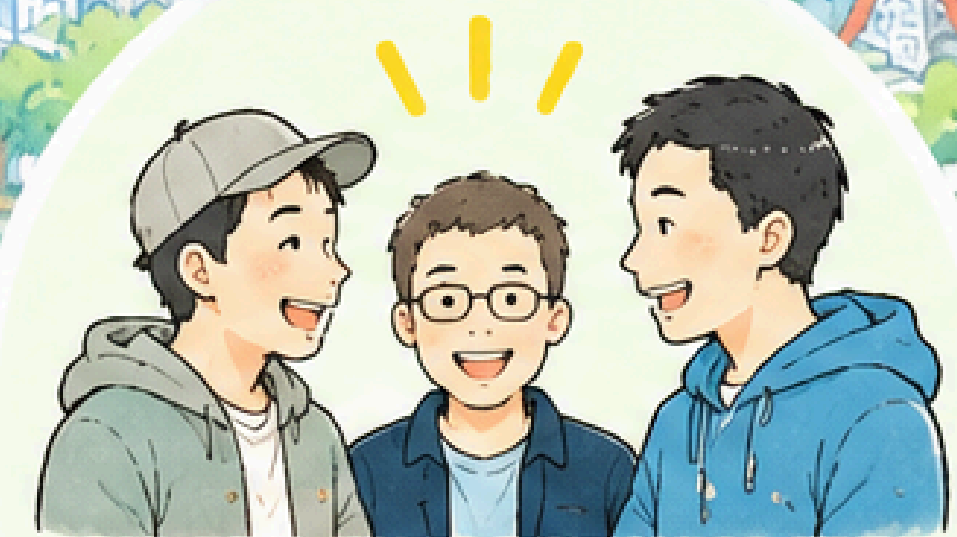
土日など
参加しやすい機会



父親向けの
学びの場



夫婦で
参加できる機会



おやじの会など
既存のコミュニティ
との連携

